



《春めき桜》 写真は3月14日 南足柄市狩川土手にて撮影

## 2018年度 (第64回) 全国溶接技術競技会結果 入賞3名 被覆アーク溶接の部 全国第2位!

2018年度 (第64回) 全国溶接技術競技会は、2018年10月21日(日) 山口県山口市の山口職業能力開発促進センターにて開催され、その結果がこの1月に一般社団法人日本溶接協会より発表されました。

神奈川県代表選手3名が入賞を果たし、中でも被覆アーク溶接の部の喜屋武秀人さん(㈱IHI横浜工場)は、全国2位の特別優秀賞を獲得するという栄誉に輝きました。

また、被覆アーク溶接の部の馬原涼太さん(東芝エネルギーシステムズ㈱京浜事業所)は第5位優秀賞、炭酸ガスアーク溶接の部の東迎晋太郎さん(住友重機械マリンエンジニアリング㈱)も、第10位優秀賞と健闘されました。

明治維新150周年を迎えた山口県で開催された今大会、晴天にも恵まれ、全国から選抜された112名が日ごろの成果を発揮すべく熱い戦いが繰り広げられました。神奈川県代表4人も、職場、家族の期待を背に大いに実力を発揮し、常に優勝候補に挙がる神奈川県の選手は、他の都道府県からの注目度も高い中、緊張感も胸に健闘しました。

競技会前日に行われた技術交流会では、前年度優勝の選手らによるパネルディスカッションが行われ、昨年度被覆アーク溶接の部優勝の㈱IHI横浜工場の根崎弘崇さんも参加し、翌日に競技会を控えた選手へのアドバイス、日ごろ心がけていることなどを多くの聴衆の前で披露しました。



写真左から喜屋武さん、西さん、東迎さん、馬原さん

2018年度の優勝選手は、被覆アーク溶接の部は、石川県代表の小田凌也さん(㈱小松製作所)。炭酸ガスアーク溶接の部は、愛知県代表の三輪大介さん(トヨタ自動車㈱)でした。

## 2019年度（第62回）神奈川県溶接技術コンクール 結果速報！

2019年度（第62回）神奈川県溶接技術コンクールは下記の通り開催されました。

審査は、外観検査、不安全行為などとともに今回より競技時間が45分（前回まで55分）へ変更となり時間超過で減点となる選手が数名いました。その後、X線透過試験、曲げ試験について行い、下記のように入賞者が決定しました。

2019年11月17日に沖縄県で開催される全国大会へは、下記の4名の方々が神奈川県代表選手として出場します。

《被覆アーク溶接の部》 1位・中神 貴紘さん、2位・馬原 涼太さん  
 《炭酸ガスアーク溶接の部》 1位・比嘉 大貴さん、2位・藤田 智大さん

・主 催 神奈川県、一般社団法人神奈川県溶接協会  
 ・開催期日 2019年2月1日(金)  
 ・会場 (一財)日本溶接技術センター  
 ・参加者 被覆アーク溶接の部 10名  
 炭酸ガスアーク溶接の部 23名 合計参加者33名



参加選手と関係者集合写真

### ■ 優勝 神奈川県知事賞・神奈川県溶接協会長賞(優秀賞) ■

#### 被覆アーク溶接の部

団体賞 東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所 / 個人賞 優勝 中神 貴紘

#### 炭酸ガスアーク溶接の部

団体賞 (株)IHI横浜工場 / 個人賞 優勝 比嘉 大貴

#### 入賞者 (得点800点満点)

《被覆アーク溶接》1位～3位は優秀賞です(760点以上)、4位～8位は優良賞(720点以上)です。

1位 中神 貴紘/東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所 2位 馬原 涼太/東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所  
 3位 吉村 佑太/JFEエンジニアリング(株) 4位 東 龍哉/JFEエンジニアリング(株)  
 5位 秋山 了亮/神鋼溶接サービス(株) 6位 櫻場 瑛大/(株)IHI横浜工場  
 7位 佐藤 健一/神鋼溶接サービス(株) 8位 青木 岳志/神鋼溶接サービス(株)

《炭酸ガスアーク溶接》1位～4位は優秀賞です(760点以上)、5位～15位は優良賞(720点以上)です。

1位 比嘉 大貴/(株)IHI横浜工場 2位 藤田 智大/富士電機(株)  
 3位 伴 隆一郎/三菱重工業(株)相模原製作所 4位 野崎 和也/住友重機械マリンエンジニアリング(株)  
 5位 東迎 晋太郎/住友重機械マリンエンジニアリング(株) 6位 今村 圭稀/富士電機(株)  
 7位 伊藤 雅浩/三菱重工業(株)相模原製作所 8位 穴山 夏海/ジャパンマリンユナイテッド(株)  
 9位 鈴木 啓太/(株)総合車両製作所 10位 鈴木 一史/(株)総合車両製作所  
 11位 伊藤 文孝/神鋼溶接サービス(株) 12位 徳永 雄太/東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎工場  
 13位 磯 旬紀/ジャパンマリンユナイテッド(株) 14位 松井 信裕/JFEエンジニアリング(株)  
 15位 倉田 翔太/ジャパンマリンユナイテッド(株)

(敬称略)

なお、表彰式は2019年5月31日(金) 定時総会後(一財)日本溶接技術センターで行われる予定です。



## 第10回神奈川県高校生溶接コンクール 兼 第10回関東甲信越高校生溶接コンクール神奈川代表選抜競技会開催

2018年11月23日(金)、下記の要領で第10回神奈川県高校生溶接コンクールが行われました。このコンクールは、日本のものづくりを支える溶接技能の普及・啓発を図り、これからの日本の製造業の若き担い手の育成を支援する目的で開催するものです。

今回より課題が変更となり、前回までの裏当て金ありの「A-2F」相当から裏当て金なしの「N-2F」相当となりました。近年全国各地で行われている高校生大会では、「N-2F」「SN-2F」が課題の場合が多くなり、将来を見据えて関東甲信越高校生コンクールの課題が変更になるに伴い神奈川県でも変更することとなりました。変更した課題は、指導する教師陣にも初めての体験となるため、昨年3月(株)IHI横浜工場の技術訓練所において事前研修会を開催いたしました。また、練習材を住友重機械マリンエンジニアリング(株)、溶接棒を(株)神戸製鋼所よりご協力を頂きました。

- ・主催 一般社団法人神奈川県溶接協会
- ・協力 (一財)日本溶接技術センター
- ・競技課題 溶接技能者評価試験(JIS Z3801)の「N-2F」相当被覆アーク溶接、板厚9mm、裏当て金なし下向き突合せ継手溶接
- ・後援 神奈川県工業高等学校長会
- ・会場 (一財)日本溶接技術センター
- ・判定 外観判定ならびに違反行為、不安全行為等の減点法、X線透過試験判定。

神奈川県内7校の工業高等学校の生徒18名(内女子6名)が、日頃の練習の成果を競い合いました。

総合判定の結果、優勝は、大塚公輝さん(県立向の岡工業高校)、2位は、高橋一輝さん(県立向の岡工業高校)が入賞しました。大塚さんと高橋さんのお二人は、第10回関東甲信越高校生コンクールに神奈川県の代表選手として参加することとなります。このコンクールに向けては、昨年夏休みを利用し県内の高校9校から、生徒22名、教師18名が参加して2018年7月31日～8月2日に溶接実技講習研修会を、また8月3日には 非破壊検査の講習会を(一財)日本溶接技術センターのもとで開催いたしました。

大塚さん、高橋さんは、2019年3月25日～3月29日までの5日間、春休みにも係わらず(一財)日本溶接技術センターにおいて、関東甲信越コンクールへ向けて特別強化練習を行いました。



選手と関係者

## 第10回関東甲信越高校生溶接コンクール開催予定

- ・期 日 2019年4月27日(土)9時～16時
  - ・会 場 神鋼溶接サービス(株)研修センター(藤沢市宮前100-1)
  - ・競技課題 神奈川県と同様「N-2F」相当 被覆アーク溶接、板厚9mm、裏当て金なし 下向き突合せ継手溶接
  - ・参加者 東部(東京都、首都圏、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、山梨県、長野県、新潟県、神奈川県)の11溶接協会から推薦された高校生 22名
  - ・判定 外観判定、超音波探傷試験、違反行為、不安全行為等の減点法
- 新年度幕開けに開かれるこの大会を通じて、若い力を存分に発揮してもらいたいと思います。なお、見学ご希望の方は事前登録が必要です。
- 詳細につきましては、事務局へお問い合わせください。

## 講演会『ステンレス鋼溶接の実際について』開催

2018年11月20日(火) 川崎市の(一財)日本溶接技術センターにおいて、参加者約80名を迎え、講演会を開催いたしました。

講師の岡崎 司氏(株)タセト)より「ステンレス鋼・溶接材料と溶接」、田中雅之氏(株)タセト)より「二相ステンレス鋼の動向と溶接」、山本栄一氏(山本技術士事務所)より「損傷事例とその防止策」、山村亮平氏(株)タセト)より「電解研磨処理」について、そして牧野吉延氏(東芝エネルギーシステムズ(株))より適用例として国際協力が進められているITER(国際熱核融合実験炉)についてなどご紹介いただき、活気あふれる講演会となりました。2年前にも同様の講演会を実施いたしました。大変ご好評をいただき、さらに最新の内容を加え、ステンレス鋼全般に渡ってエキスパートが分かりやすい言葉で解説を行い、より充実した講演内容となりました。

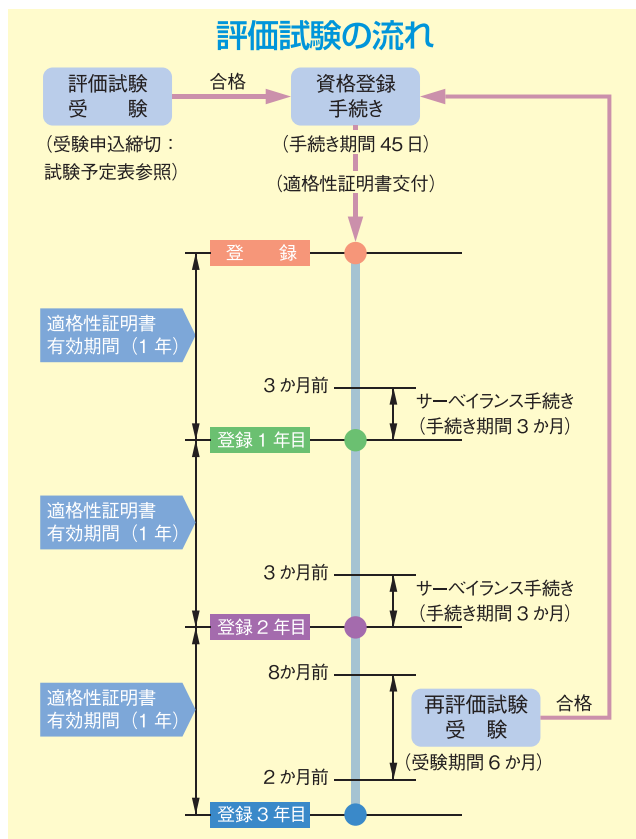
講演終了後も参加者より講師に個別に質問が寄せられるなど、参加者の方々に満足いただける講演会となりました。

# 見学会開催

2019年2月20日(水)2月としては暖かい陽射しの中、見学会を19名の参加者を得て開催いたしました。今回は、NEXCO中国高速道路株式会社様のご協力を頂き、新東名高速道路の秦野管内工事現場の見学をしました。新東名高速道路は、神奈川県海老名市から静岡県を経由し愛知県豊田市へ至る高速道路で、去る3月17日にもその一部の厚木南ICから伊勢原JCTが開通した日本の大動脈ともいえる路線の一つです。今回訪れた秦野管内の工事現場は、トンネル区間も多くまたいくつかの川をまたぐ難工事の多い箇所でもあります。ダイナマイトを使用しての大規模土木作業や日本に数台しかない巨大な掘削機を使用してのトンネル掘削を間近にし、参加者からは驚嘆の声が上がりました。また山岳トンネルの建設には、使用機材を運搬するための工用道路を最初に建設しなくてはならないこと、埋蔵文化財が多くある工事区間では、その調査への協力が自費で求められることなど、普段知ることがない苦労話をうかがうことができました。最後に訪れた河内川橋では、(完成すれば国内最大級の特殊アーチ型橋となる予定)傾斜の大きい地形の中、自然環境への影響を少なくするため、インクラインと呼ばれる巨大なエスカレーターの運搬設備を見学しました。これは資材、重機を台車ごと傾斜に沿って昇降できる設備で、「一年後くらいには、皆さんの見学バスも昇降可能になるかも」とのお話をいただき、再訪を検討したくなるような設備でした。参加者の皆様方には、満足した一日になったとの感想を頂くことが出来ました。



## 情報試験評価



### 半自動溶接 実技試験要領

	SA-3F	SA-3V
ワイヤ シールド ガス	ワイヤはJIS Z 3312 YGW11, 1.2φ (大電流用)…… 下向 YGW12, 1.2φ (小電流用)…… 立, 横向	
仮付け		
電流・電圧 その他	<p>5層7パス</p> <p>1層目: 230~250A 26~30V 2~5層目: 250~270A 28~32V 6層目: 250~270A 28~32V</p>	<p>5層6パス</p> <p>1層目: 130~150A 20~21V 2~4層目: 140~160A 20~22V 5層目: 120~140A 19~20V</p>

- 更新試験の受験期間が次のようになっています。更新試験の受験期間は技術資格の有効期限が切れる8ヶ月前から2ヶ月前までに試験を受けなければなりません。
- 更新試験に合格した場合は資格の登録日が現在資格の有効期限に合わせて登録されるようになっています。
- 上記期間外に受験する場合は有効期限内であっても、新規試験(学科試験免除)で基本級も受験しなければなりませんのでご注意ください。
- 更新試験と同時に新規種目も受験出来ますが、この場合は新規試験(学科試験免除)扱いとなり②の扱いは受けられません。②の扱いを受けようとする場合は新規試験及び更新試験それぞれ試験申込書を別々にしてください。
- 登録年月日と有効期限が同じで証明書番号が異なる別々の資格を一枚の試験申込書で申し込んで受験する場合は現在のところ更新試験の扱いにはなりません。新規受験になってしまいますのでご注意ください。更新試験の扱いを受ける場合は、申込書を別々にして下さい。
- 試験結果の発表は、毎月の15日以前の試験は翌月末の発表です。